

科目名	卒業研究	英語科目名	Graduation Research & Diploma Design
開講年度・学期	平成22年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科 5年
授業形態	実験実習	必修 or 選択	必合格科目
単位数	13単位	単位種類	履修単位(30時間単位)
担当教員	建築学科全教員	居室(所属)	建築学科棟
電話		E-mail	
授業の達成目標			
<p>高専教育の集大成というべき科目で、学生は各研究室に配属され、教員の指導の下に、個人あるいはグループで特定の課題について研究を行う。研究室によっては卒業設計にて研究に代える場合や、卒業研究と卒業設計の両方を行う場合もある。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 各自が企画し、調査・研究を進め、 2. 問題点の把握、解決方法が理解でき、とりまとめを行い、 3. 最終発表までを各自の責任で達成できること。 			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
達成目標1～3：卒業研究中間発表会、最終発表会において60%以上の成績で評価する。			
評価方法			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各研究室のゼミ、中間発表、最終発表、卒業研究の内容(本論、梗概)により評価を行う。 2. 中間発表、最終発表は全教員が審査する。 			
授業内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究室において学生の適性と希望に応じ、テーマに応じて個別の指導がなされる。 2. 基本的には学生自身が計画を立てて、研究を進めることになる。 3. テーマにより、実験、解析、調査、フィールドワーク、設計など多様な内容になる。 4. 中間発表、最終梗概、論文本論の提出、研究発表が義務づけられている。 			
キーワード	建築、研究、論文、発表		
教科書	----		
参考書	建築学科すべての授業科目の教科書、参考書		
小山高専の教育方針①～⑥との対応	②		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(B-1)実験や観察、調査、製作を行って結果や結論を導ける。			
(D-2)実験や調査結果を口頭発表して議論できる。			
JABEE 基準1の(1)との関係	d(2-c)、(f)、(h)		
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	全科目		
現学年の関連科目	全科目		
次年度以降の関連科目	----		
連絡事項			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 4年次に研究室紹介があり、研究室の教員が適宜個別に相談に応じる。 2. 毎年学年末に行われる先輩の研究発表は必ず聴講すること。 3. 5年間で学んだことを基に、各学生の実力を十分に発揮して欲しい。 4. テーマは本人の希望と能力により異なるので、指導教員とよく相談し、指導に従うことが重要となる。 			
シラバス作成年月日	平成22年2月26日		